

はだのドーナツ登場

神奈川県

農商工連携
地場産を活用 香り良くかわいい

【神奈川・秦野】秦野市内の農商工関係者などをつくる「はだのブランド推進協議会」は、地場産農産物を使った新商品「はだのドーナツ」を開発し、今月から市内の菓子店9店舗で販売する。食べた人からは「香りが良くおいしい。見た目がかわいいでプレゼントにも良い」と、早くも人気を集めている。

「はだのドーナツ」は、する焼きドーナツ。キャッパセイをトッピングし同市の菓子職人が手作り



秦野のおいしさが詰まった「はだのドーナツ」

ジャムの酸味が利いた「いちご」、八重桜の塩漬けがアクセントの「さくら」の3種類。いずれも同市を代表する農産物を使い、生地にも市内産の小麦「農林61号」を100%使用し、秦野産にこだわった。

油で揚げないため口当たりが軽く、ドーナツ生地に一般的な薄力粉ではなく中力粉を使うため、小麦本来の香りやこくが

楽しめるのも魅力。ロゴ入りのスティックが付いているので食べやすく、花束のようなパッケージでオリジナル感や見た目のかわいらしさも演出した。

同協議会では魅力的な地域ブランドを創出するため、昨年9月に開発部会（スイーツ部門）を立ち上げ、開発に着手。商工会議所や菓子組合、JAはだの他、主婦や大学生などさまざまな分野からメンバーが集まり、試行錯誤を重ねてきた。

5月下旬に開いた「商工まつり」では約5000個を先行販売し、市民から好評を得た。

部会長を務める菓子職人の島村茂雄さんは「秦野を代表するブランドにしたい。今後は季節の果物や野菜を使ってラインナップを増やし、秦野の農産物をもっと発信できれば」と意欲を燃やす。

価格は1個150円、花束をイメージした3種類入りの「ドーナツブーケ」は500円で販売している。

第1回はだのブランド認証品

<p>①黒若秦野うどん</p> 	<p>②秦野特産 丹沢銘茶「霧がかり」</p> 	<p>③秦野特産 丹沢銘茶「こもかけ」</p> 	
<p>④招福達磨<small>だるま</small>磨<small>こ</small>麻<small>あし</small></p> 	<p>⑤おいしい秦野の水 丹沢の雫<small>しずく</small></p> 	<p>⑥冷凍ゆで落花生 「うでピー」</p> 	<p>⑦はだのドーナツ</p> 

認証事業者

<p>① 花園(緑町17-42) ☎(81)2013</p>	<p>⑤ 市水道局(曾屋830-1) ☎(83)2111</p>
<p>②③ わさびや茶園(菩提908) ☎(75)1571</p>	<p>⑥ JAIはだの(平沢477) ☎(81)7711</p>
<p>④ (株)クラフトおじさん企画 招福風の風っ平 (渋沢2-18-21) ☎(88)3939</p>	<p>⑦ 秦野菓子組合(栄町5-21 アンデス橋本 内) ☎(81)1202</p>

秦野の魅力を発信 はだのブランド認証品



秦野の魅力をより効果的に発信するために、統一ブランドをつくろうと始まった、はだのブランド「みっけもん秦野」認証制度。第一回の認証品が決まりました。

「秦野生まれ」秦野育ち「秦野発」のいずれかに該当する食品や工芸品などを募集した、はだのブランド「みっけもん秦野」。応募総数二十二件の中から、菓子やお茶など七件が認証されました。

「審査の中では、味だけでなく包装などの見た目も大事という意見がありました」

と話すのは、はだのブランド推進協議会事務局の山本ゆかりさん。

はだのブランドの認証品の販売などを通じて、秦野の魅力を市民だけでなく市

外の人にも発信し、地域経済の活性化につなげたいといっています。また、市内の事業者と連携し、秦野らしさが伝わる商品の開発にも取り組んでいく予定です。

認証品には「みっけもん秦野」のシール(右上)が貼られ、取り扱い店舗で販売されています。

また、秦野たばこ祭では市役所駐車場にはだのブランド紹介ブースを設け、認証品のPRと販売をします。秦野の魅力ある商品を、ぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 商工観光課☎(82)9648または商工会議所☎(801)13550